

神奈川県民ホール開館30周年記念事業

海岸通りのクラシックコンサート 種谷睦子マリンバ・コンサート

2004年10月10日(日) 15:00 / 19:00(追加公演)

会場 神奈川県民ホール 小ホール

出演 種谷睦子(マリンバ/チェロマリンバ)
菅原淳・岡田真理子・安原千晶(マリンバ)・一柳慧(ピアノ)

バッハ、モーツァルトから世界唯一の楽器チェロマリンバのための新作まで 円熟の演奏と心に響く音色でおおくりするマリンバの全魅力決定版!!

神奈川県民ホールでは、マリンバ一筋に50余年、古典から現代までマリンバ音楽の世界を切り開いてきた種谷睦子のコンサートを開催します。モーツァルトやバッハの古典曲、サラサーテの『ツィゴイネルワイゼン』など親しみやすいクラシックの名曲から、種谷が持つ世界唯一の楽器であるチェロマリンバに捧げられた、今をときめく錚々たる作曲家～一柳慧、権代敦彦～のオリジナル作品まで、種谷の正確で強靱なテクニックとともに魅力的なプログラムが披露されます。

共演には、いずれもマリンバ奏者として第一人者である菅原淳、岡田真理子と、昨今の活躍が目覚ましい若手奏者の安原千晶、そして作曲家の一柳慧自身がピアノで参加するという、贅沢な顔ぶれがそろいます。

いい作品、いい楽器、いい奏者の出会いががあって初めて実現する、マリンバの全魅力決定版！4年ぶりに首都圏で行われる種谷睦子マリンバ・コンサートを、ぜひご紹介下さい。

プログラム

モーツァルト：『ディヴェルティメント 二長調 K.136』(マリンバ四重奏)

J.S.バッハ：『シャコンヌ』(マリンバ独奏)

一柳慧：『パガニーニ・パーソナル』(マリンバ+ピアノ)

権代敦彦：『木^{こだま}壺』(世界初演) - 神奈川県民ホール開館30周年記念委嘱新作(チェロマリンバ二重奏)

一柳慧：チェロマリンバのための『バラード』(チェロマリンバ独奏)

サラサーテ：『ツィゴイネルワイゼン』(マリンバ+ピアノ)

* 一般券 3,500円 学生券 2,000円 セット券 7,000円 *

セット券：10月8日(金)19:00 浜離宮朝日ホール「種谷睦子マリンバ・リサイタル」(ソロ)との割引セット券

一柳慧：森の肖像/チェロマリンバのための『バラード』 権代敦彦：木はやはりなにも言わない
J.S.バッハ：組曲第1番小短調BWV996 原曲：リュート / 無伴奏組曲第6番二長調BWV1012 原曲：チェロ / シャコンヌ
【主催】朝日新聞社

主催・お問い合わせ 神奈川県民ホール【(財)神奈川県芸術文化財団】

〒231-0023 横浜市中区山下町3-1 TEL.045-633-3797 FAX.045-641-3184

プロデューサー：永井健一 制作担当：赤江

<http://www.kanagawa-kenminhall.com/taneyamutsuko/index.html>

マリンバが持つ驚きの表現力

種谷はバッハやモーツァルトなど古典音楽の演奏にも定評があるが、日本の作曲家にマリンバ楽曲を委嘱するなど、新作初演を含む現代音楽にも積極的に取り組んできた。本公演のプログラムも、「古典と現代曲の両方を演奏することが音楽家としての理想。そして聴衆の皆さんに音楽を楽しんでいただくことをいつも心がけている。」という種谷ならではの構成で、古典から新作まで、そしてソロからカルテット編成まで、マリンバという楽器の持つ幅広い音楽性が楽しめる。

マリンバは打楽器ではない！

「マリンバは打つ楽器でなく、弾く楽器。」と語る種谷。マリンバが奏でる音楽は横に流れる音楽芸術であり、ピアノのタッチと同様、マリンバではそれが指からバチに代わっただけで、打音を出さずに響きをつくるのが、マリンバ・テクニックの目指すところであるという。事実、それは種谷が奏でるマリンバの上品な音色に表現される。

世界にたった1台、幻想の楽器「チェロマリンバ」首都圏初登場

今回、首都圏に初めてお目見えするチェロマリンバとは、岐阜県の名匠・水野三郎氏(84)により製作された、世界に1台しか存在しない貴重な楽器である。通常、金属製である共鳴管が、チェロマリンバではすべて木製でなされ、それゆえ低音部のぬくもりある豊かな響きは「チェロ」の名にふさわしく、種谷と水野により「チェロマリンバ」という楽器名が命名された。今回は、このチェロマリンバのために書き下ろされた一柳慧『バラード』と権代敦彦による新作『木霊^{こだま}』(神奈川県民ホール開館30周年記念委嘱作品)が演奏される。



チェロマリンバ

見どころ、聴きどころ

種谷は、自らの基礎であるというバッハ作品の演奏、名曲をマリンバ用にアレンジした演奏、そしてマリンバ独自のオリジナル楽曲の新作委嘱という3つのコンセプトを軸に活動を続けている。マリンバのオリジナル曲を増やし、ほんものの音を聴きわける奏者、聴衆、楽器製作者を一人でも増やしてマリンバの普及に努めたいという。今回のプログラムは種谷のその3つの魅力すべてを楽しめる選曲となっている。そして、チェロマリンバのための初めての作品である『バラード』と『パガニーニ・パーソナル』の作曲家である一柳慧が自らピアノで加わり、演奏会に彩りを添える。また、権代敦彦の『木霊^{こだま}』は、神奈川県民ホール30周年記念の委嘱作品でもあり、チェロマリンバのためにつくられたこの記念すべき2作品目が本コンサートで初めて披露される。当日は、一柳慧と権代敦彦が自らの作品について語る趣向もなされ、見どころ聴きどころ満載の構成となっている。

*** 出演者プロフィールは、別紙公演チラシをご参照ください。**